

清政

神道政治連盟京都府本部会報
平成25年6月19日発行(年2回発行)



御製
サイパンに
戦いし人その様を
浜辺に伏して
我らに語りき

就任にあたって
今というとき
サイパン島・グアム島戦没者慰霊参拝団報告
京都府戦没英霊追悼慰霊祭・時局講演会
あしあと
事務局からの活動報告

54

「就任にあたって」



神道政治連盟京都府本部
本部長 林 秀俊

やすらかにねむれとぞ思ふ君の
ためのちきさげ志ますらおのとも

香淳皇后が昭和十三年にお詠み
になったこの御歌には、貴い命を捧げ
わが国をお守り頂いた英霊に、「ど
うか安らかにお鎮まり下さい」と祈
られた、深くやさしい御心が溢れて
います。御皇室は、今も昔も変わら
ず常に私たち国民に心をお寄せ下
さること有り難き極みであります。

当本部では創立四十周年事業の一環として、先の戦争において最多の戦死者を出した中部太平洋方面での慰霊参拝を実施しました。二月二十日には、北マリアナ連邦サイパン島に建立された「中部太平洋戦没者の碑」において、サイパン市長及び在サイパン領事参列のもと慰霊祭を斎

行し、祭儀中の慰霊の詞において、謹んでこの御歌を英霊とすべての戦争犠牲者に捧げ、永遠に感謝と追悼の誠を捧げることをお誓い申し上げました。

さて安倍首相が、戦後レジームからの脱却を掲げた第二次政権では、残念ながら志半ばで病に斃れ、中途に終わった日本再生に向けた諸政策も、再度国民の強い信託を受けた第二次政権において必ず成し遂げられるものと確信しております。神政連の綱領宣言は、「わが日本国の現状は、内に外に誠に憂念禁じ難きものあり」と始まりますが、設立より四十五年を経た今日にあつても、国の内外では憂慮する事案が頻発していることは、まことに残念でなりません。年初早々には我が国境を守る護衛艦が、中国艦船にロックオンされるなど、中国の無法ぶりは目に余るものがあり、挙句の果てに中国共産党機関紙人民日報は、尖閣諸島だけでなく沖縄県全体の領有権まで主張する論文を掲載しました。長らく続いた日本の弱腰外交に輪をかけた国益無視の売国奴前政権が、更に中国の覇権主義を助長させ、韓国、北朝鮮をも増長させています。

編集室だより

去る2月19日、当本部創立40周年記念事業「サイパン島・グアム島戦没者慰霊参拝」が実施された。私も参加者として心一つに、遠く祖国を離れた地で散華された英霊や多くの戦没者に対し、感謝と慰霊の誠を捧げた。

そこで強く感じたのは、その「地」に赴くことの重要性である。その地を踏み、呼吸し、耳を澄ませる。何かを感じられる筈である。

それは何物にも代え難い人生の宝でもある。

「百聞は一見にしかず」ということわざ。これには続きがある。「百見は一考にしかず」、「百考は一行にしかず」、「百行は一果にしかず」である。いくら見ても、考えなければ前に進まない、どんなに考えても「行動」を起こさなければ前には進まない、どんなに行動しても、成果を残さなければ成長しない。

今回の記念事業は、40年に亘る先輩諸兄の絶え間ない努力の賜であり、大きな成果である。4期目を迎えた林秀俊本部長を中心に、今後も様々な成果を残し、さらに成長し続けることを信じて疑わない。(神)

●ご意見ご感想をお待ちしています。
投稿はご氏名ご連絡先を明記の上、FAXか電子メールでお願いします。
宛先/神道政治連盟京都府本部「清政」編集室
ファックス/075-863-6664
電子メール/info@kyoto-jinjacho.or.jp



このロゴマークは、わたくしたちの会名である「神道政治連盟」の英訳の頭文字SAS (Shinto Association of Spiritual Leadership) と日本古来の装飾品である勾玉(マガタマ)をデザイン化したものです。

清政 第54号

発行日 平成25年6月19日(水)
発行所 神道政治連盟京都府本部
〒616-0022京都市西京区
嵐山朝月町68-8
電話 075-863-6677

神政連ホームページをぜひご覧ください。
<http://www.sinseiren.org>

編集協力 (株)ハルプロモーション

沖縄「京都の塔」慰霊参拝



昨年十二月二十九日、三十日の二日間、沖繩「京都の塔」慰霊参拝団を結成。林本部長以下団員十八名は伊丹空港から空路沖繩入りし、まず波上

宮を参拝。渡慶次宮司様よりご挨拶を戴いた。その後、バスにて沖繩戦最後の激戦地であり、京都府出身の英霊が多数戦つた、嘉数高台公園に坐します「京都の塔」の前で、花房副本部長斎主のもと慰霊祭を斎行。本年も京都女子神職会より松井、竹若両会員のご奉仕による「常永遠の舞」も奉納され、慰霊祭は雲天の中、滞りなく厳粛に斎行された。祭典終了と共に降り出した大粒の雨は、そこに眠る英霊の御心のようにも感じられた。

二日目は、沖繩本島海軍博物館の泡盛酒造所を見学後、米軍普天間基地の移転先として候補地となった辺野古ビーチを視察した。現地には所謂反対派の監視用テントが建てられており、早朝から午後四時ごろまでの間、そのテントで監視を行うとともに、訪問者に反対運動の活動を行っている、バスガイドより説明を受けた。

一行は辺野古を離れ、那覇空港より伊丹へ。その後参加者全員無事に帰京した。本年で十二回目を迎えるこの「京都の塔」での慰霊祭であるが、公園の使用申請から祭具・装束に至るまで毎回ご心配をいただいている波上宮の渡慶次宮司様をはじめ、職員の皆様にご改めまして衷心より感謝申し上げます。

午後零時三十分、先ず拜殿で修祓を受け、本殿に昇殿。厳かに京都府関係祭神慰霊祭が斎行された。この慰霊祭には、京都府神社庁田中恒清庁長様にもご参列頂き、田中庁長、林本部長、竹之内総代会副会長が玉串を奉奠、参加者一同列拜した。境内の桜も満開。本場に綺麗だった。

去る三月二十八日、本年は日帰りの日程で第九回靖國神社慰霊参拝団を二十一名の参加者で結成し上京した。東京駅到着後、駅構内で昼食をとり、タクシーに分乗して靖國神社へ。全国的には桜は早咲きとの事で、勿論靖國神社境内の桜も満開。本場に綺麗だった。

午後零時三十分、先ず拜殿で修祓を受け、本殿に昇殿。厳かに京都府関係祭神慰霊祭が斎行された。この慰霊祭には、京都府神社庁田中恒清庁長様にもご参列頂き、田中庁長、林本部長、竹之内総代会副会長が玉串を奉奠、参加者一同列拜した。境内の桜も満開。本場に綺麗だった。

靖國神社京都府関係祭神慰霊祭

宮司様にご挨拶を頂戴し、ご多忙にもかかわらず貴重なお時間をお割き頂いた田中庁長・徳川宮司様に感謝申し上げます。祭典終了後、二年前に当本部が献木した、河津桜の前で記念撮影し靖國神社を後にした。

その後、一行はありむら治子参議院議員表敬訪問の為、参議院会館へ移動。同館と国会議事堂の見学をした。また、先生のお取り計らいで参議院議員厚生労働委員会を傍聴させて頂くこととなり、傍聴席に至るまでセキユリテイを預けての傍聴となったが、このような貴重な経験は中々出来ず、参加者らは委員会での議論を真摯な眼差しで傍聴した。その後、一行は東京駅へ向かい帰路に着いた。

事務局 中森圭治



昨年未、三年三カ月ぶりに政権与党に返り咲いた自民党への期待は、高い支持率に現れています。従来の自民党ではなく、自虐史観にとらわれない安倍政権であるからこそ、アベノミクス効果も相まってさらに期待度は高まっています。自民党の党是である憲法改正への論議も深まり、改正の如何は今夏の参議院選挙結果にかかっています。

しかし我々神社人が、やみ雲に世論に乗じ、憲法改正について声高々と議論することが果たして相応しいことなのか、よく考える必要があります。まずは国民のために常に御心をお寄せ頂く御皇室に関わることを最重要であり、万世一系の天皇を頂く我が国に相応しい法整備を望むところです。こうした政策を実現し、正しい日本

の姿形に整え直すためにも、来る参議院選挙において信頼して負託できる政治家を見極め、選出しなければなりません。その期待に応えて下さる政治家とは、私たち神道政治連盟が推薦する比例全国区のありむら治子氏であり、京都選挙区の西田昌司氏であると確信しております。

さて当本部では、本年四月に役員改選が行われ、四期目の本部長として就任させて頂きました。新たな役員共々力を合わせて当連盟の使命と役割をさらに追求して参りたく存じます。何卒倍旧のご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

今という時 Reflect the times

日本のこころを取り戻そう！日本再生講演会 京都大会

日時：平成二十五年一月十日(日) 午後時

場所：リーガロイヤルホテル京都

本年夏は、参議院議員選挙が行われます。我々神道政治連盟が推薦する「ありむら治子」議員も三期目当選を目指し、多忙な政治活動の合間を縫って選挙準備に奔走しています。この度神道政治連盟近畿地区協議会では、ありむら議員の近畿地区での知名度を高め、その政治信条や活動の内容をより多くの有権者に知って頂くことと、近畿二府四県リー形式で「日本再生講演会」を開催しました。本欄では、当日の

講演内容と、応援に駆けつけて頂いた西田昌司議員の応援演説を、要約して掲載します。

ありむら治子先生演説

私は、縁あって初当選の時から神道政治連盟さまに応援頂きました。「神道精神を国政に、日本のこころを政策に」という思いで、しっかりととした国家観と、地に足の付いた生活感を併せ持ち、命の重みと家族の絆と国家の尊

厳を大切にしながら、二期十二年国政に携わらせて頂きました。私が最も力を入れてきた事は、国家の安全保障についてです。安全保障の英訳は「セキュリティ」ですが、この本来の意味は「確かなにする。確かなものにする。不安のないものにする」という意味です。国家の根幹的な基盤を「確かなもの」にしていく事こそ私の政治活動の原点です。

爾来日本は海洋国家であるという視点が欠けていきました。古より「海を制するものは世界を制する」と言われていますが、今も変わりません。日本の島嶼数は六八五二にのぼる世界でも有数の海洋国家です。この視点をもっと

広げなければなりません。伝統的に内陸国家であった中国は、ここ数十年海洋国家を目指し、とりわけアジアの覇者となろうとする意図を隠さなくなってきました。これに対抗するには、抑止力が大切ですが、今はその力が効いていません。戦争をしない国だからこそ、日米関係を修復させ、抑止力を高めねばと確信しています。

国々が次々と白色人種の植民地になっていくのを目の当たりにし、国力を上げ国民の心を一つにするため自国の成り立ちを意識しはじめたのです。ちょうどその頃唱歌「蛍の光」がつくられました。「蛍の光」には二番三番があるのをご存じでしょうか。北方領土から沖縄の島嶼まで、日本の大事な守りなのだという国土意識を持つて、海外列強の侵略に対抗するようしっかりと教育をしていかなければならないという、当時の国民の心意気がよく現れています。しかし戦後GHQによってこの三番四番の歌詞は教科書から消されま

裁選挙推薦人に名を連ねているわけですが、まさに神風が吹き、強硬態度を増す中韓に対し、強力なリーダーシップを求める声が大きくなり、安倍政権が実現しました。さらに、安倍総理が唱える憲法改正問題などは、早急に取り組まねばなりません。声を大にするほどマスコミの反発は強くなります。マスコミは、GHQの占領が終ったあともその政策をそのままの仕組み・価値観・言葉で今も続けています。それが一番よく表れているのは、戦争の名称、「大東亜戦争」と「太平洋戦争」との違いです。日本はアジアの解放共栄を目的とし「大東亜戦争」と名づけて戦いました。これ

は正しいとか間違っていると発言う問題ではなく、そういう意味があつたという事実です。「太平洋戦争」とはアメリカの太平洋覇権を意味する呼称です。こういつたことをはじめ、我々

皇統問題では、皇統を変質させる女性宮家の件で国会質問をさせて頂き、当時の藤村官房長官の皇統に関する無知ぶりを暴き、女性宮家が天皇陛下の御意思ではないと言う答弁を宮内庁長官より引き出しました。

日本人らしい日本の発展、誇りある国家となるよう、西田昌司先生とともに戦って参ります。

はもう一度自国の誇り、価値観、歴史観を取り戻さねばなりません。歴史の真実をしっかりと見てみると、我々が教えられてきた歴史とはかなり異なる。なぜこうなったかを一人ひとりが疑問を持って考え直す事によって正しい歴史が甦ってくるのです。安倍総理が訴えた「戦後レジームからの脱却」とはそういう事なのです。そうして日本は本当の意味での独立国家になる事が出来るのです。

西田昌司先生応援演説

有村先生は、日本人の素直で優しい誠実な心をそのまま国会に持ち込んで働いて頂いています。若い感覚と素直な心で皆さまの代弁者にふさわしいが、是非とも次はもっと票を伸ばして頂きたい。私と有村先生は安倍総理の総

明日は建国記念日です。世界各国あらゆる国は、自国の建国記念日を非常に大切にしてお祝いしますが、残念ながら我が国では未だ政府主催の式典は未催行です。しかし今回自民党の公約に、政府主催の建国記念の日式典実施を盛り込みました。是非安倍政権の間にやり遂げたいと思っております。実は我が国での建国記念の日をお祝いする習慣は、まだ一四〇年ほどの歴史しかないのです。幕末から明治にかけて、アジアの



は正しいとか間違っていると発言う問題ではなく、そういう意味があつたという事実です。「太平洋戦争」とはアメリカの太平洋覇権を意味する呼称です。こういつたことをはじめ、我々



Reflect the times